

令和6年10月9日

松山港湾・空港整備事務所

大迫力！国内最大級の大型起重機船 1000tの「ケーソン」を吊り上げ

～船舶大型化へ対応！松山港外港地区の岸壁を延伸～

松山港外港地区では、海上輸送の効率化を図るため、大型船舶の係留を可能とする水深13m岸壁を整備しています。水深13m岸壁はケーソン(コンクリートで作られた箱状の構造物)で構成されており、今般、伊予市の陸上で製作された重さ約1,000tのケーソンを国内最大級の大型起重機船(吊能力: 3,700t)で吊り上げ、現地に据え付けを行います。ケーソンの吊り上げは以下の日程で実施します。

- 工事名称:松山港外港地区岸壁(-13m)築造工事
- 工事内容:ケーソン【12.4m(L)×7.1m(B)×13.1m(H) 質量約 1,000t】 2函
- 日 時:令和6年10月19日(土) ①作業準備開始 ▶ 8:30～ ②ケーソン吊上 ▶ 10:00～
令和6年10月21日(月) ①作業準備開始 ▶ 8:30～ ②ケーソン吊上 ▶ 10:00～

※気象・海象状況等により予定を変更する場合があります。

※作業時間は前後する場合がありますので予めご了承ください。

- 吊上場所:伊予市下水浄化センター(伊予市下吾川 1693-3) ※詳細は別紙1参照
- 取材予定日時:令和6年10月19日(土) 8:30～11:30
- 取材申込

取材を希望される方は、下記をメールまたはFAX(別紙2取材申込書)にてお申し込みください。申込み期限は、令和6年10月18日(金)12時までとさせていただきます。期限後の申込みは、問い合わせ先までご連絡をお願いいたします(当日の申込も可能です)。

- ① 貴社名
- ② 連絡先(電話番号・メールアドレス)
- ③ 代表者氏名
- ④ 取材者人数
- ⑤ ヘルメット数

※当所で用意する必要がある場合は数量をお知らせください。



【問い合わせ先】 ◎主な問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所 副所長 川口 悦史
◎保全課長 小松 誠二

TEL : 089-951-0161 FAX : 089-967-6593

MAIL : pa.skr-mtjm-i88s3@mlit.go.jp

■ 位置図 伊予市下水浄化センター(伊予市下吾川 1693-3)



■ 当日の作業内容(予定)



※写真は、令和6年2月17日に同現場で実施された作業の様子です。



吊上対象のケーソン

▲ 陸上で制作されたケーソン

■ 注意事項

- 現地ではヘルメットの着用をお願いします。
※当事務所でヘルメットを用意する必要がある場合は、取材申込時に必要個数を記載ください。
- 足下の悪い場所での取材となるため、ヒールの高い靴などでの取材はご遠慮ください。
- 気象・海象状況等により、ケーソン吊上が延期になる場合は、**10月17日(木)17:00まで**にご連絡いたします。なお、当日最終判断で延期となった場合は、速やかにご連絡いたします。
- 見学・取材エリアは、**別紙1**位置図に示す範囲を予定していますが、工事の状況により変更する場合がございます。その際は、工事関係者の指示・誘導に従ってください。

四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所 宛

FAX:089-967-6593

取材申込書
松山港外港地区水深13m岸壁ケーソン吊上作業
※作業延期時は記載の連絡先へご連絡いたします。

恐れ入りますが、令和6年10月17(金)12時までにお申込みください。

貴社名			
連絡先	TEL : Mail:		
代表者氏名			
随行者	名	ヘルメット ※当所でご用意が必要な場合は、 個数をご記入ください。	個
連絡事項など			

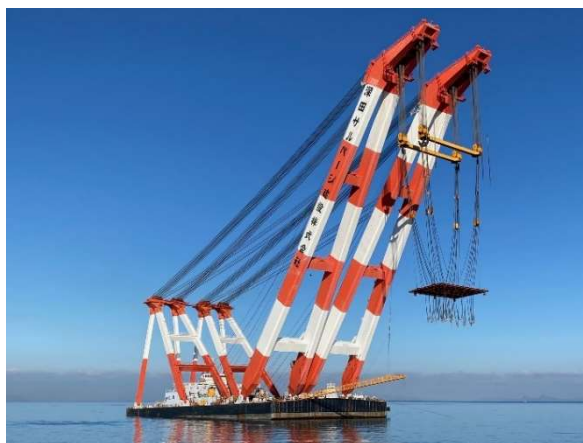
なお、メールでも申し込みを受け付けております。この取材申込書の必要事項を【pa.skr-mtjm-i88s3@mlit.go.jp】へお送りください。

【注意事項】

- ・ 陸上からの取材となります。
- ・ 取材予定時間は、作業の進行状況などにより前後することがあります。
- ・ 気象・海象状況等により予定を変更する場合があります。
- ・ 取材希望者が多数の場合は、人数等の調整をさせていただく場合があります。

■ 起重機船「武蔵」の概要

船名		武蔵（むさし）
所有会社		深田サルベージ建設株式会社
船体	長さ	107.0 m
	幅	49.0 m
	深さ	8.0 m
定格荷重		3,700 t



■ ケーソン据付

※ケーソン据付については松山空港制限区域内での施工につき、夜間実施予定となっておりますので、取材対象外とさせていただきます。



■ 松山港事業



▲松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業を構成する主要施設

四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所では、増大する外貿コンテナ貨物や非効率な輸送体系にある外貿バルク貨物の輸送の効率化を図るとともに、大規模地震発生時の緊急物資輸送拠点とすることを目的として、「松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業」を実施しており、今回ケーソンの据え付けを予定している水深13m岸壁も事業を構成する施設の1つとなっております。